2022年1月28日

原料費調整制度に基づくガス料金の調整について(江別地区)
(2022年3月検針分)

旭川ガス株式会社
(小売登録番号:B0003)

当社では、本日確定した2021年10月から2021年12月の平均原料価格に基づき、2022年3月検針分のガス料金(単位料金)を、2022年2月検針分に比べ1㎥あたり7.58円(税込)上方に調整させていただくこととなりましたので、お知らせいたします。

これにより、標準家庭(1ヶ月あたり11㎥ご使用)への影響は、2022年2月検針分と比較して、83円の引き上げとなります。

○一般契約料金 (消費税込)

	使用量区分	基本料金(円/月)	単位料金(円／㎥)		影響額(円／㎥)
			3月	2月	
料金表A	0㎥から 23㎥まで	917.40	256.01	248.43	7.58
料金表B	23㎥を超え134㎥まで	1,309.00	239.38	231.80	7.58
料金表C	134㎥を超える場合	3,223.00	225.10	217.52	7.58

(注)各月のご使用量に応じて、A～Cの各料金が適用されます。

○標準家庭における影響 (消費税込)

1ヶ月のご使用量	3月のガス料金	2月のガス料金	影響額
11㎥	3,733 円	3,650 円	+83 円

(注)標準家庭のガス使用量は、平成26年度の平均使用量実績に基づき算定しています。

*ガス料金の計算方法

ガス料金 = **基本料金(税込)** + **単位料金** (基準単位料金(税込) ＋ 原料費調整による調整額(税込)) × **使用量**

(円未満切り捨て)

＜参考資料＞

1.平均原料価格について

＜平均原料価格の算出式＞

平均原料価格 ＝ LNG平均価格 ×0.9503 ＋ プロパン平均価格 ×0.0546

＝ 80,420 (円／t) ×0.9503 ＋ 92,220 (円／t) ×0.0546

＝ 81,460 (円／t)(10円未満四捨五入)

■原料価格の動向 (円／t)

	2021年10月～2021年12月 (3月検針分)	2021年9月～2021年11月 (2月検針分)	基準平均原料価格
平均原料価格	81,460	73,190	58,680
LNG平均価格	80,420	71,950	
プロパン平均価格	92,220	88,170	

原料価格変動額 ＝ 平均原料価格 － 基準平均原料価格

＝ 81,460 (円／t) － 58,680 (円／t)

＝ 22,700 (円／t)(100円未満切捨て)

2.単位料金の調整について

＜単位料金の算出式＞

単位料金 ＝ 基準単位料金 ＋ 単位料金調整額

単位料金調整額 ＝ 0.084 (円／㎥) × 原料価格変動額 ／ 100 (円／t) × (1+消費税率)

＝ 0.084 (円／㎥) × 22,700 (円／t) ／ 100 (円／t) × 1.1

＝ 20.97 (円／㎥) 小数点第3位切捨て

(※)原料価格変動額100円/tにつき、1㎥あたり0.084円調整します

(円／㎥)

	基準単位料金	単位料金調整額	3月単位料金
料金表A	235.04	20.97	256.01
料金表B	218.41		239.38
料金表C	204.13		225.10

(消費税込)

【原料費調整制度の概要】

- 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(1㎥あたりの単価)を調整する制度です。
- 「基準平均原料価格(58,680円／t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、プロパンの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1㎥あたり0.084円単位料金を調整いたします。
- 原料価格の変動については、LNG、プロパンとも貿易統計実績によります。
- 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が93,880円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は93,880円としてガス料金の調整を行います。